

外国籍県民意識調査結果

長野県国際課

1 調査の目的

県内に居住する外国籍県民の実態を把握し、今後の施策の参考にするため。

2 調査の実施

(1) 調査期間

平成30年5月～平成31年6月

(2) 調査対象者

県内に在住する外国籍県民

*対象言語…日本語、中国語、ポルトガル語、タガログ語、タイ語、英語、韓国語
(7言語)

(3) 調査方法

多文化共生くらしのサポーター、日本語教室等の協力を得て、聞き取り等により実施。

(4) 回収状況 回収数 467人

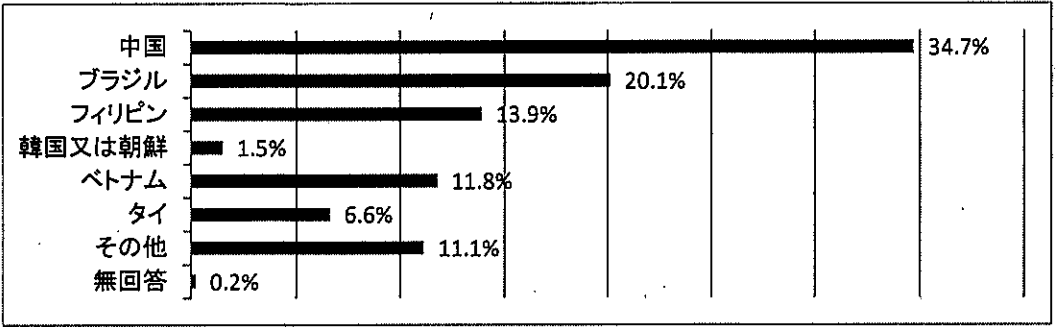
3 平成27年との主な項目の比較

項目	質問内容	平成27年 (2015年)	令和元年 (2019年)
勤務形態	<u>正規の社員、研究員、技術者</u>	17.4%	28.7%
	派遣、パート、アルバイト	41.3%	34.6%
年金	<u>厚生年金、国民年金に加入</u>	59.0%	66.6%
	入っていない	26.0%	17.6%
保険	健康保険、国民健康保険に加入	79.1%	78.1%
	入っていない	8.6%	7.3%
⑩災害時	家族や友人との連絡方法が不安	20.7%	19.8%
	理解できる言語で情報提供されるか不安	18.2%	18.7%
	避難場所がわからない	14.9%	16.1%
日本語	日本語の読み書きができる	27.0%	29.4%
⑪必要な情報	医療・保健(病院、健康保険、母子手帳、予防接種など)	25.3%	25.6%
	労働(求人、労働条件、研修制度など)	17.3%	16.4%
	福祉(年金など)	16.5%	14.1%
⑫情報入手先	同国人の友人・知人	18.0%	18.8%
	家族・親戚	14.8%	12.1%
	日本人の知人・友人	13.3%	15.5%
日本人との 関わり	よく関わっている	42.8%	51.2%
	あいさつする程度の関りがある	39.5%	30.8%
	ほとんどない、全くない	13.8%	11.4%
地域活動	積極的に参加、都合がついた時に参加	55.0%	57.6%
⑬行政施策 への要望	日本の生活ルール、習慣、文化の違い等周知	18.4%	20.7%
	相談体制や多言語での情報提供を充実	14.2%	14.0%
	外国人の労働環境の改善を促す	13.0%	10.9%
	日本語の学習を支援する	12.8%	14.0%

* ⑩は複数回答可の項目

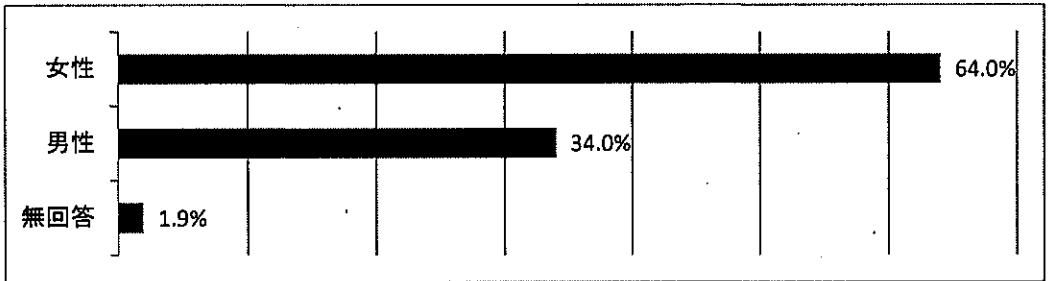
【属性】

Q1 国籍を教えてください
①中国 ②ブラジル ③フィリピン
④韓国又は朝鮮 ⑤ベトナム ⑥タイ
⑦その他



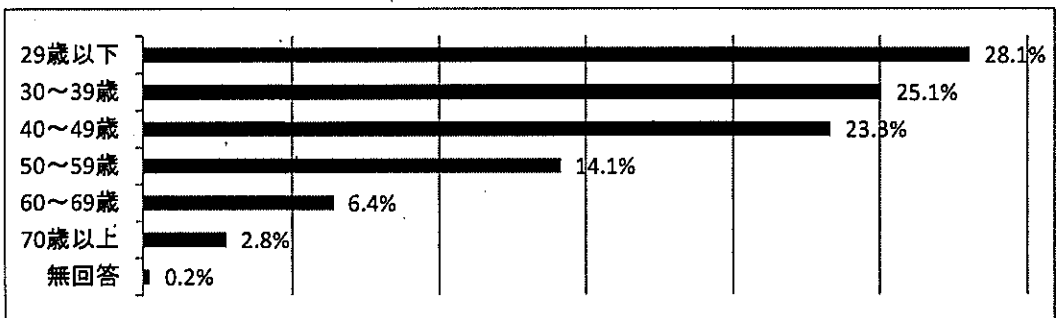
回答者の国籍は、「中国」という回答が34.7%と最も多く、次いで「ブラジル」という回答が20.1%となっている。

Q2 性別を教えてください
①女性
②男性



回答者の性別は、「女性」という回答が64.0%、「男性」という回答が34.0%となっている。

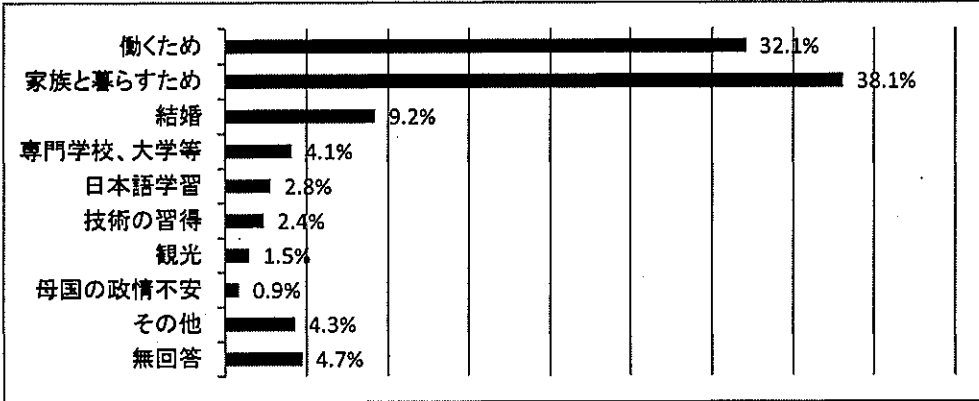
Q3 年齢を教えてください(一つに〇)
①29歳以下 ②30~39歳 ③40~49歳
④50~59歳 ⑤60~69歳 ⑥70歳以上



回答者の年齢は、「29歳以下」という回答が28.1%と最も多く、次いで「30~39歳」という回答が25.1%、「40~49歳」という回答が23.3%の順となっている。

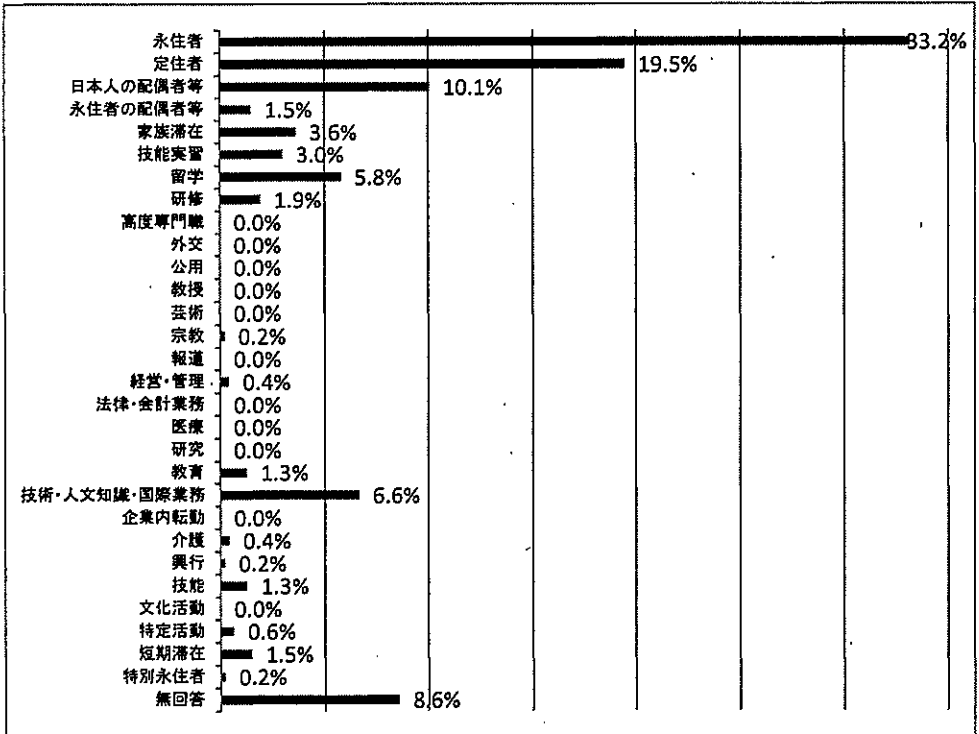
【在留資格】

Q4 日本に来た目的は何ですか。(1つに○)
 ①働くため ②家族と暮らすため ③結婚
 ④専門学校、大学等 ⑤日本語学習 ⑥技術の習得
 ⑦観光 ⑧母国の政情不安 ⑨その他



日本に来た目的は、「家族と暮らすため」という回答が 38.1 % で最も多く、次いで「働くため」という回答が 32.1 % となっている。

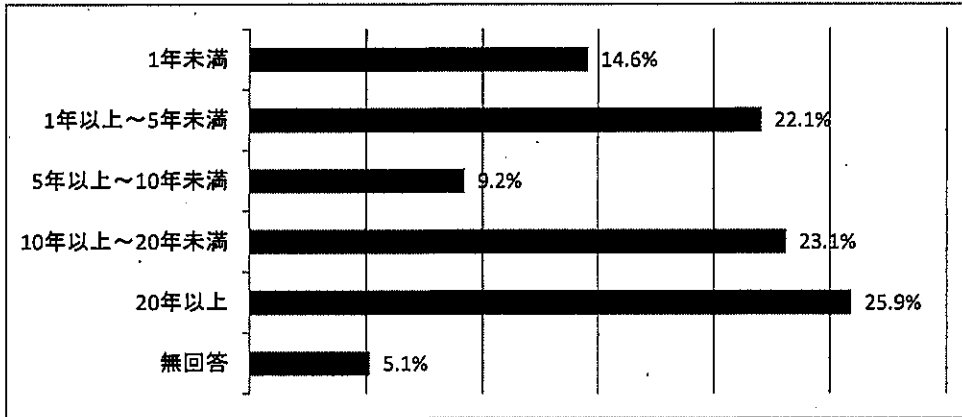
Q5 現在の在留資格は何ですか。(1つに○)
 ①永住者 ②定住者 ③日本人の配偶者等
 ④永住者の配偶者等 ⑤家族滞在 ⑥技能実習
 ⑦留学 ⑧研修 ⑨高度専門職
 ⑩外交 ⑪公用 ⑫教授
 ⑬芸術 ⑭宗教 ⑮報道
 ⑯経営・管理 ⑰法律・会計業務 ⑱医療
 ⑲研究 ⑳教育 ㉑技術・人文知識・国際業務
 ㉒企業内転勤 ㉓介護 ㉔興行
 ㉕技能 ㉖文化活動 ㉗特定活動
 ㉘短期滞在 ㉙特別永住者



在留資格は、「永住者」という回答が 33.2 % とで最も多く、次いで「定住者」という回答が 19.5 %、「日本人の配偶者等」という回答が 10.1 % の順となっている。

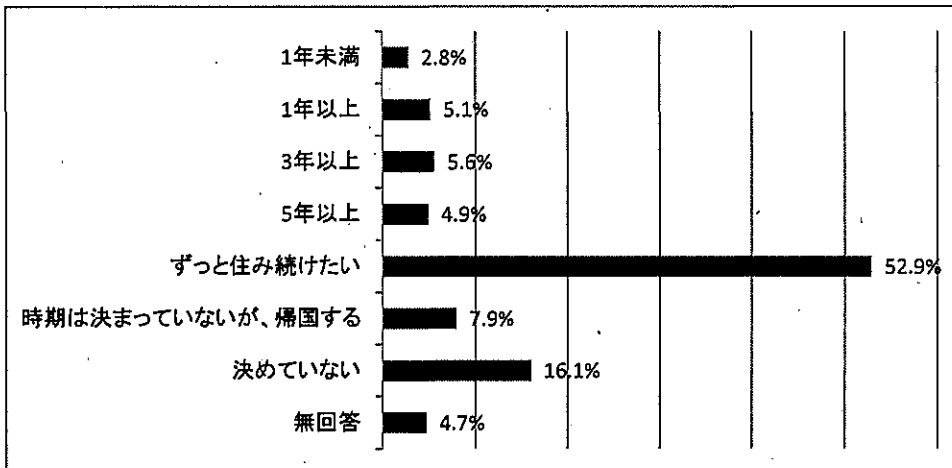
【滞在】

- Q6 何年間、日本に住んで（滞在して）いますか。（1つに○）
- ① 1年未満
 - ② 1年以上～5年未満
 - ③ 5年以上～10年未満
 - ④ 10年以上～20年未満
 - ⑤ 20年以上



日本に住んでいる期間は、「20年以上」という回答が25.9%と最も多く、次いで「10年以上～20年未満」という回答が23.1%、「1年以上～5年未満」という回答が22.1%の順となっている。

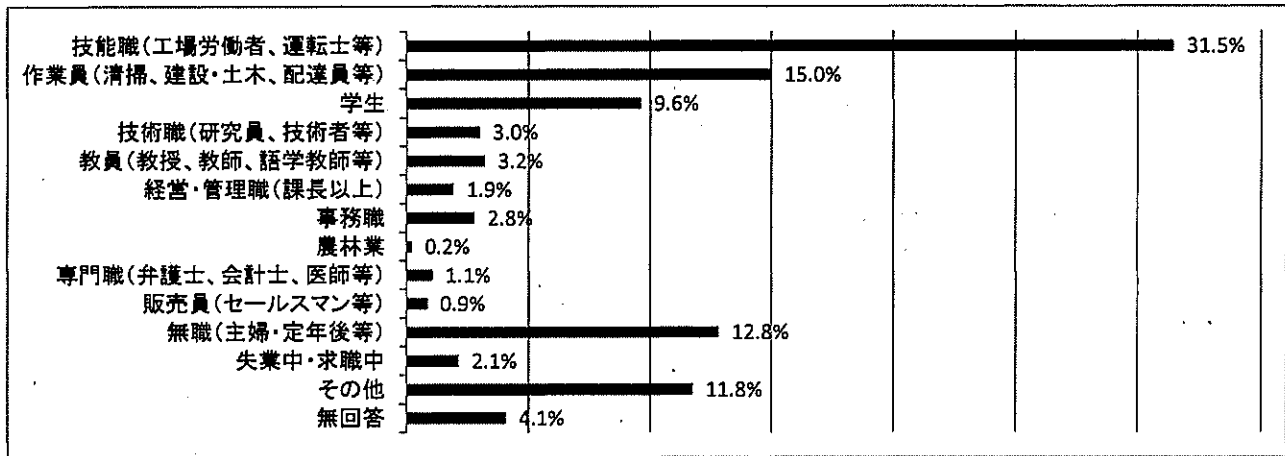
- Q7 今後、日本にどれくらい住む予定ですか。（1つに○）
- ① 1年未満
 - ② 1年以上
 - ③ 3年以上
 - ④ 5年以上
 - ⑤ ずっと住み続けたい
 - ⑥ 時期は決まっていないが、帰国する
 - ⑦ 決めていない



今後、日本に住む予定は、「ずっと住み続けたい」という回答が52.9%と最も多く、次いで「決めていない」という回答が16.1%の順となっている。

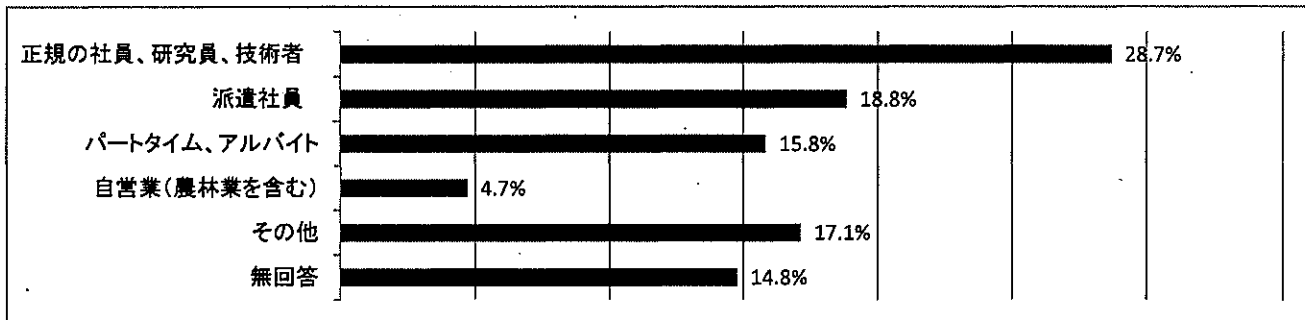
【仕事】

Q8 現在の仕事の種類は何ですか。(1つに○)
 ①技能職(工場労働者、運転士等) ②作業員(清掃、建設・土木、配達員等) ③学生
 ④技術職(研究員、技術者等) ⑤教員(教授、教師、語学教師等)
 ⑥経営・管理職(課長以上) ⑦事務職 ⑧農林業
 ⑨専門職(弁護士、会計士、医師等) ⑩販売員(セールスマン等)
 ⑪無職(主婦・定年後等) ⑫失業中・求職中 ⑬その他



現在の仕事は、「技能職(工場労働者、運転士等)」という回答が 31.5 % で最も多く、次いで「作業員(清掃、建設・土木、配達員等)」という回答が 15.0 % の順となっている。

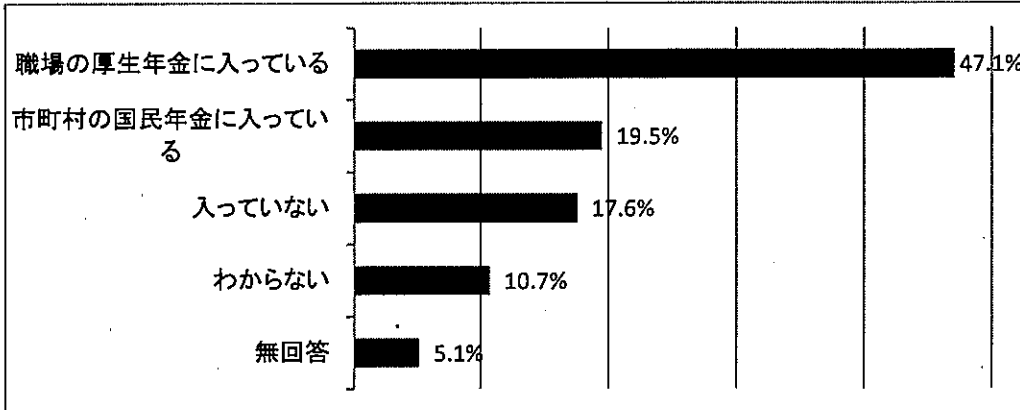
Q9 どのような勤務形態ですか。(1つに○)
 ①正規の社員、研究員、技術者 ②派遣社員 ③パートタイム、アルバイト
 ④自営業(農林業を含む) ⑤その他



採用形態は、「正規の社員、研究員、技術者」という回答が 28.7 % と最も多く、次いで「派遣社員」という回答が 18.8 %、「その他」という回答が 17.1 % の順となっている。

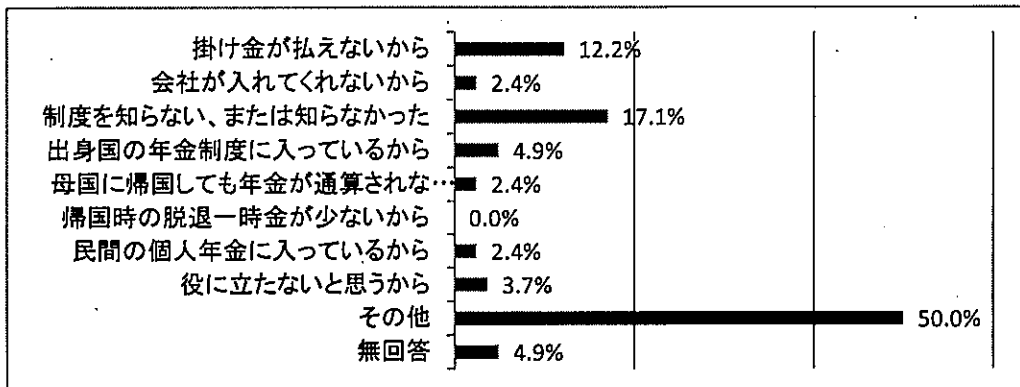
【 年金 】

Q10 あなたは日本の厚生年金または国民年金に入っていますか。
 (1つに○)
 ①職場の厚生年金に入っている
 ②市町村の国民年金に入っている
 ③入っていない
 ④わからない



「職場の厚生年金に入っている」という回答が 47.1 %、「市町村の国民年金に入っている」という回答が 19.5 % の順となっている。

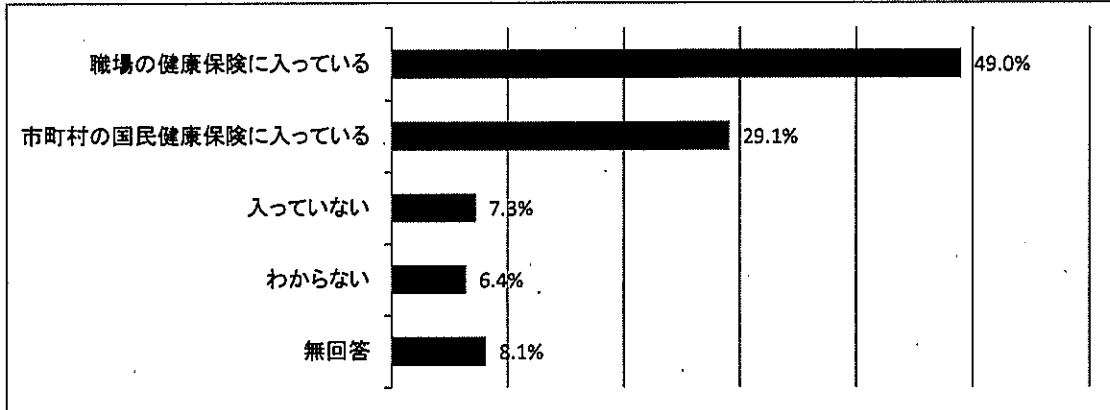
Q11 「Q10で『入っていない』」と答えた方にお聞きします。
 その1番の理由は何ですか。(1つに○)
 ①掛け金が払えないから
 ②会社が入れてくれないから
 ③制度を知らない、または知らなかった
 ④出身国の年金制度に入っているから
 ⑤母国に帰国しても年金が通算されないから
 ⑥帰国時の脱退一時金が少ないから
 ⑦民間の個人年金に入っているから
 ⑧役に立たないと思うから
 ⑨その他



年金に入っていない理由は、「その他」という回答が 50.0 % と半数を占め、次いで「制度を知らない、または知らなかった」という回答が 17.1 %、「掛け金が払えないから」が 12.2 % の順となっている。

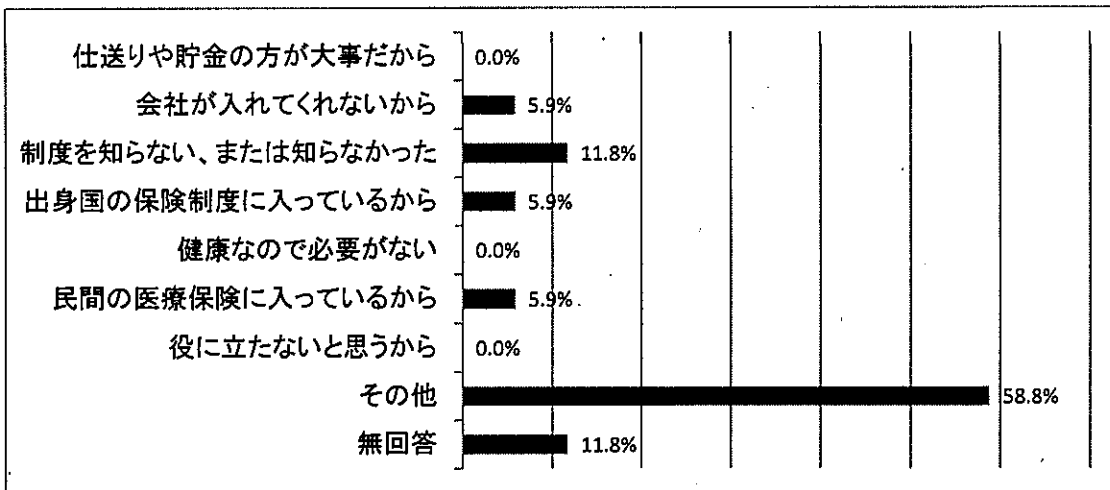
【 保 険 】

Q12 あなたは職場の健康保険または国民健康保険に入っていますか。(1つに○)
 ①職場の健康保険に入っている
 ②市町村の国民健康保険に入っている
 ③入っていない
 ④わからない



「職場の健康保険に入っている」という回答が49.0%、次に「市町村の国民健康保険に入っている」という回答が29.1%の順となっている。

Q13 「Q12で『入っていない』」と答えた方にお聞きします。
 その1番の理由は何ですか。(1つに○)
 ①仕送りや貯金の方が大事だから
 ②会社が入れてくれないから
 ③制度を知らない、または知らなかった
 ④出身国の保険制度に入っているから
 ⑤健康なので必要がない
 ⑥民間の医療保険に入っているから
 ⑦役に立たないと思うから
 ⑧その他

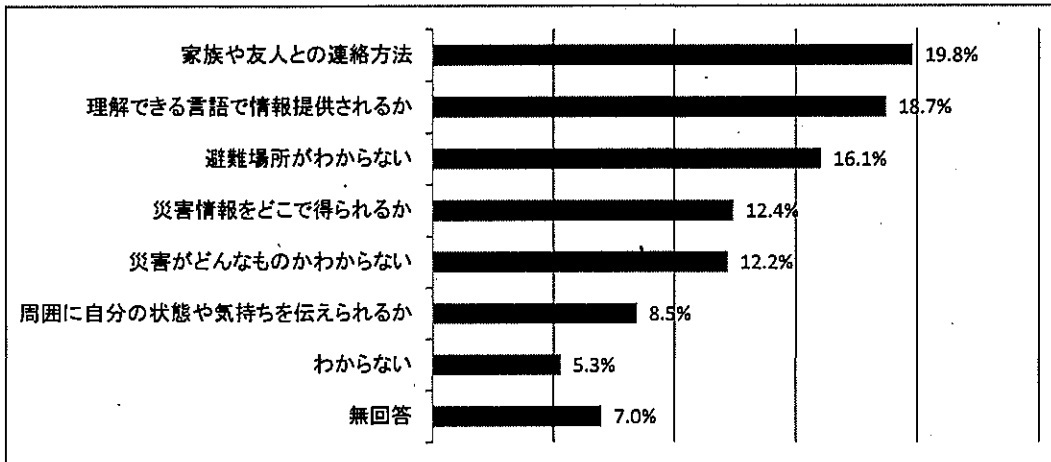


健康保険に入っていない理由は、「その他」という回答が58.8%で最も多く、次いで「制度を知らない、または知らなかった」、「無回答」という回答が11.8%の順となっている。

【災害】

Q14 災害（地震、洪水等）についてどのようなことが不安ですか。（3つまで○）

- ①家族や友人との連絡方法
- ②理解できる言語で情報提供されるか
- ③避難場所がわからない
- ④災害情報をどこで得られるか
- ⑤災害がどんなものかわからない
- ⑥周囲に自分の状態や気持ちを伝えられるか
- ⑦わからない

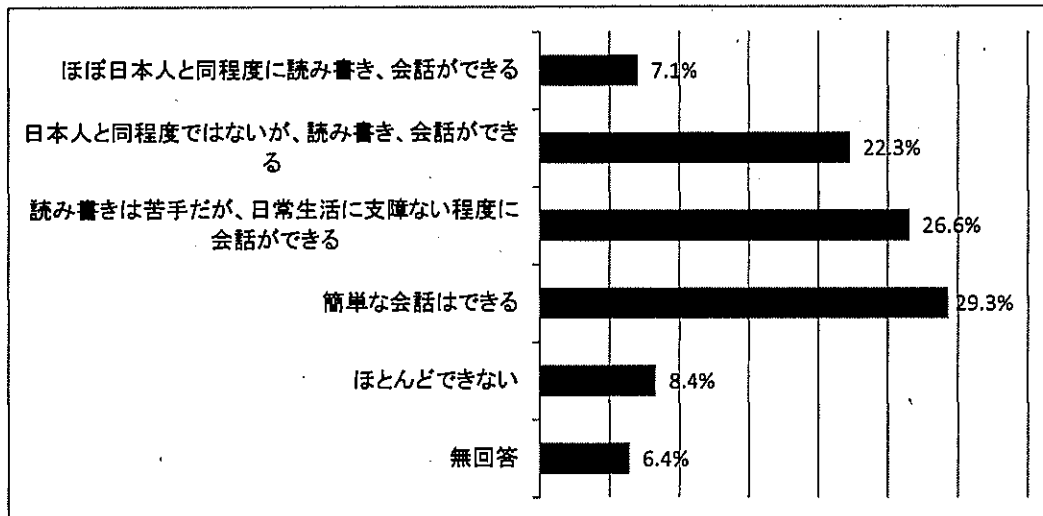


災害について不安なことは、「家族や友人との連絡方法」という回答が19.8%と最も多く、次いで「理解できる言語で情報提供されるか」という回答が18.7%、「避難場所がわからない」という回答が16.1%の順となっている。

【日本語】

Q15 日本語をどのくらいできますか。(1つに○)

- ①ほぼ日本人と同程度に読み書き、会話ができる
- ②日本人と同程度ではないが、読み書き、会話ができる
- ③読み書きは苦手だが、日常生活に支障ない程度に会話ができる
- ④簡単な会話はできる
- ⑤ほとんどできない

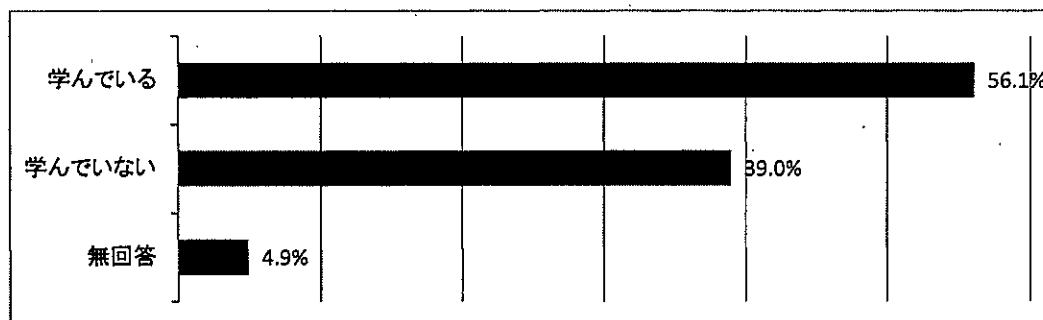


日本語能力は、「簡単な会話はできる」という回答が29.3%と最も多く、次いで「読み書きは苦手だが、日常生活に支障ない程度に会話ができる」という回答が26.6%、「日本人と同程度ではないが、読み書き、会話ができる」という回答が22.3%の順となっている。

「読み書きができない」という回答（上記グラフ「読み書きは苦手だが、日常生活に支障ない程度に会話ができる」、「簡単な会話はできる」、「ほとんどできない」）の割合が全体の約6割である。

Q16 現在、日本語を学んでいますか。(1つに○)

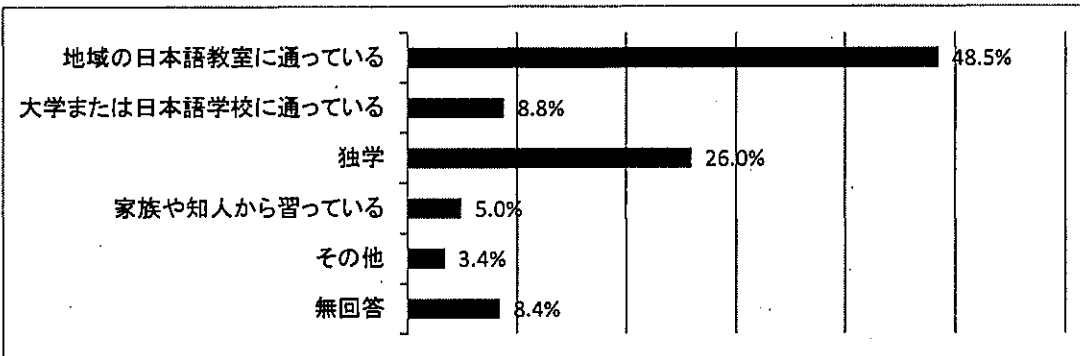
- ①学んでいる
- ②学んでいない



日本語の学習は、「学んでいる」という回答が56.1%、「学んでいない」という回答が39.0%となっている。

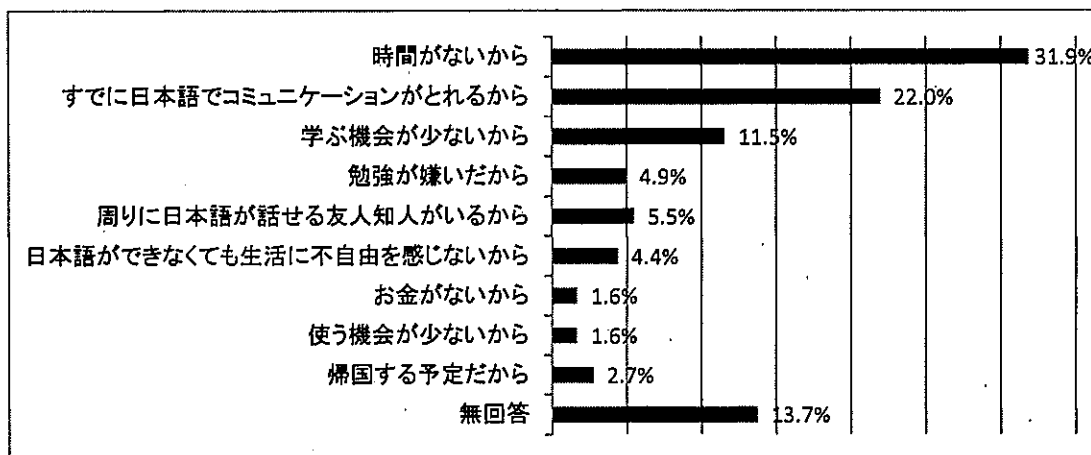
【日本語学習】

Q17 「Q16で『(1)学んでいる』」と答えた方にお聞きします。
 どうやって学んでいますか。
 ①地域の日本語教室に通っている
 ②大学または日本語学校に通っている
 ③独学
 ④家族や知人から習っている
 ⑤その他



日本語をどのように学んでいるかは、「地域の日本語教室に通っている」という回答が48.5%で最も多く、次いで「独学」という回答が26.0%と多い。

Q18 「Q16で『②学んでいない』」と答えた方にお聞きします。
 学んでいない理由は何ですか。
 ①時間がないから ②すでに日本語でコミュニケーションがとれるから
 ③学ぶ機会が少ないから ④勉強が嫌いだから
 ⑤周りに日本語が話せる友人知人がいるから
 ⑥日本語ができなくても生活に不自由を感じないから
 ⑦お金がないから ⑧使う機会が少ないから
 ⑨帰国する予定だから

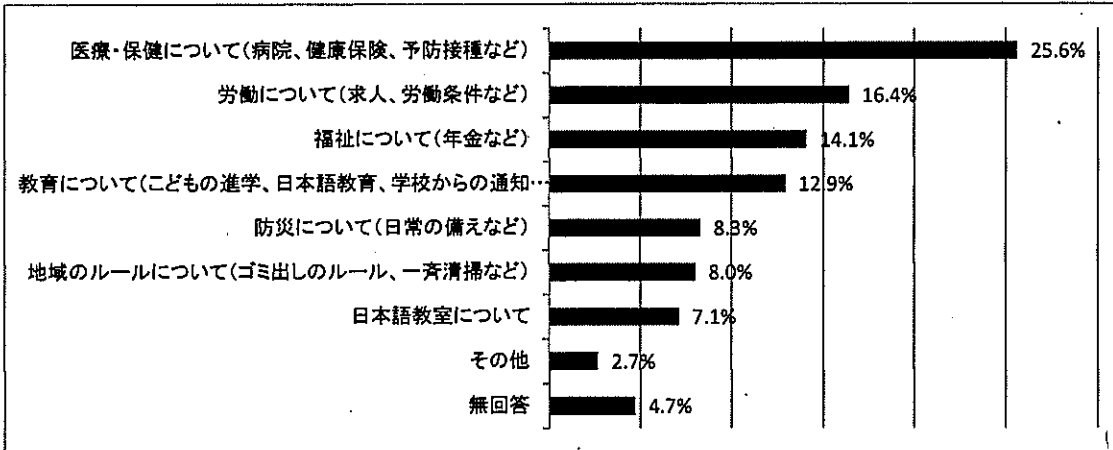


日本語を学んでいない理由については、「時間がないから」という回答が31.9%と最も多く、次いで「すでに日本語でコミュニケーションがとれるから」という回答が22.0%と多い。

【情報】

Q19 日本で暮らしていく上で、必要な情報は何か。(3つに〇)

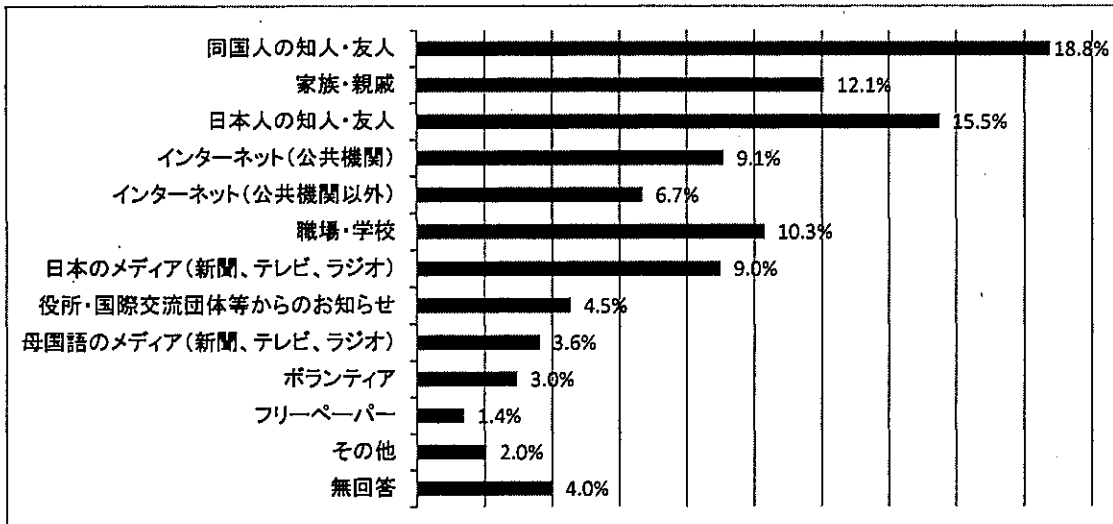
- ①医療・保健について(病院、健康保険、予防接種など)
- ②労働について(求人、労働条件など)
- ③福祉について(年金など)
- ④教育について(こどもの進学、日本語教育、学校からの通知など)
- ⑤防災について(日常の備えなど)
- ⑥地域のルールについて(ゴミ出しのルール、一斉清掃など)
- ⑦日本語教室について
- ⑧その他



必要な情報については、「医療・保健について(病院、健康保険、予防接種など)」という回答が25.6%で最も多く、次いで「労働について(求人、労働条件など)」という回答が16.4%となっている。

Q20 必要な情報をどこから得ていますか。(3つに〇)

- ①同国人の知人・友人
- ②家族・親戚
- ③日本人の知人・友人
- ④インターネット(公共機関)
- ⑤インターネット(公共機関以外)
- ⑥職場・学校
- ⑦日本のメディア(新聞、テレビ、ラジオ)
- ⑧役所・国際交流団体等からのお知らせ
- ⑨母国語のメディア(新聞、テレビ、ラジオ)
- ⑩ボランティア
- ⑪フリーペーパー
- ⑫その他

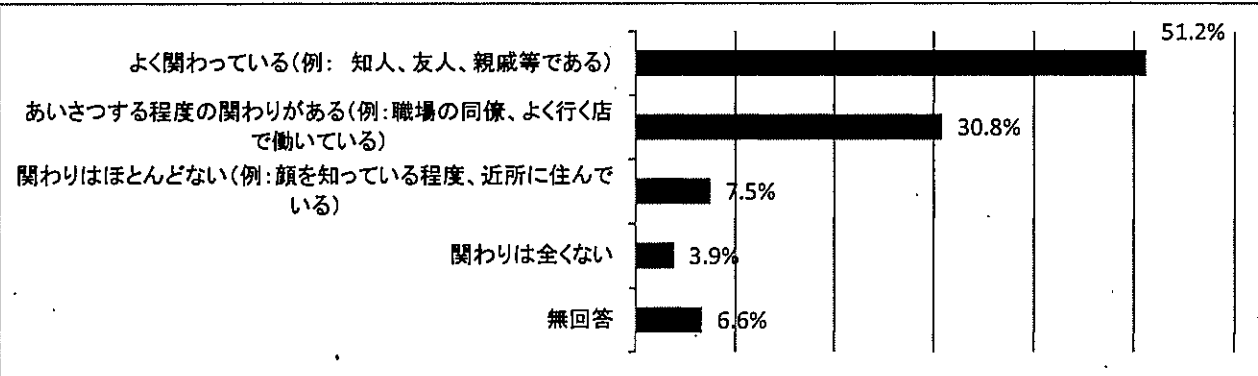


必要な情報をどこから得ているかについては、「同国人の知人・友人」という回答が18.8%で最も多く、次いで「日本人の知人・友人」という回答が15.5%となっている。

【日本人との関わり】

Q21 日常生活で日本人と関わるがありますか。(1つに〇)

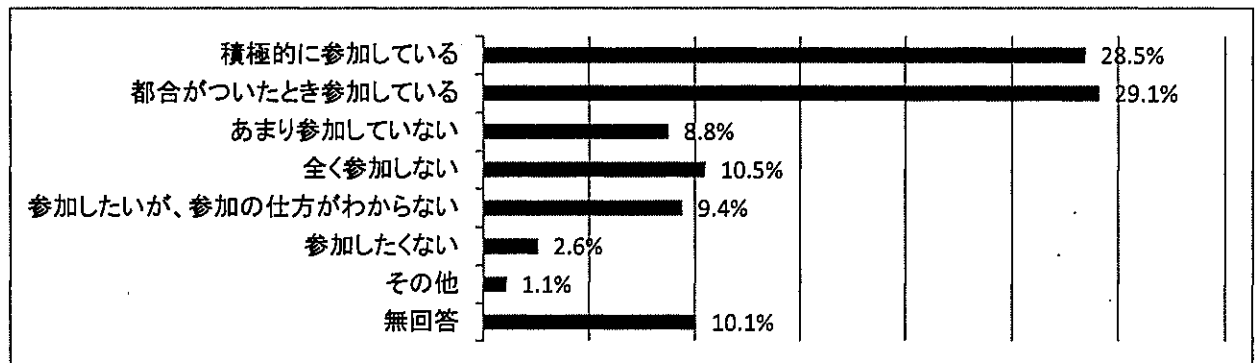
- ①よく関わっている(例: 知人、友人、親戚等である)
- ②あいさつする程度の関わりがある(例: 職場の同僚、よく行く店で働いている)
- ③関わりはほとんどない(例: 顔を知っている程度、近所に住んでいる)
- ④関わりは全くない



日常生活で日本人との関わりについては、「よく関わっている」という回答が51.2%で最も多く、次いで「あいさつする程度の関わりがある」という回答が30.8%となっている。

Q22 地域のお祭りや自治会、清掃活動などの地域活動に参加していますか。(1つに〇)

- ①積極的に参加している
- ②都合が合ったとき参加している
- ③あまり参加していない
- ④全く参加しない
- ⑤参加したいが、参加の仕方がわからない
- ⑥参加したくない
- ⑦その他

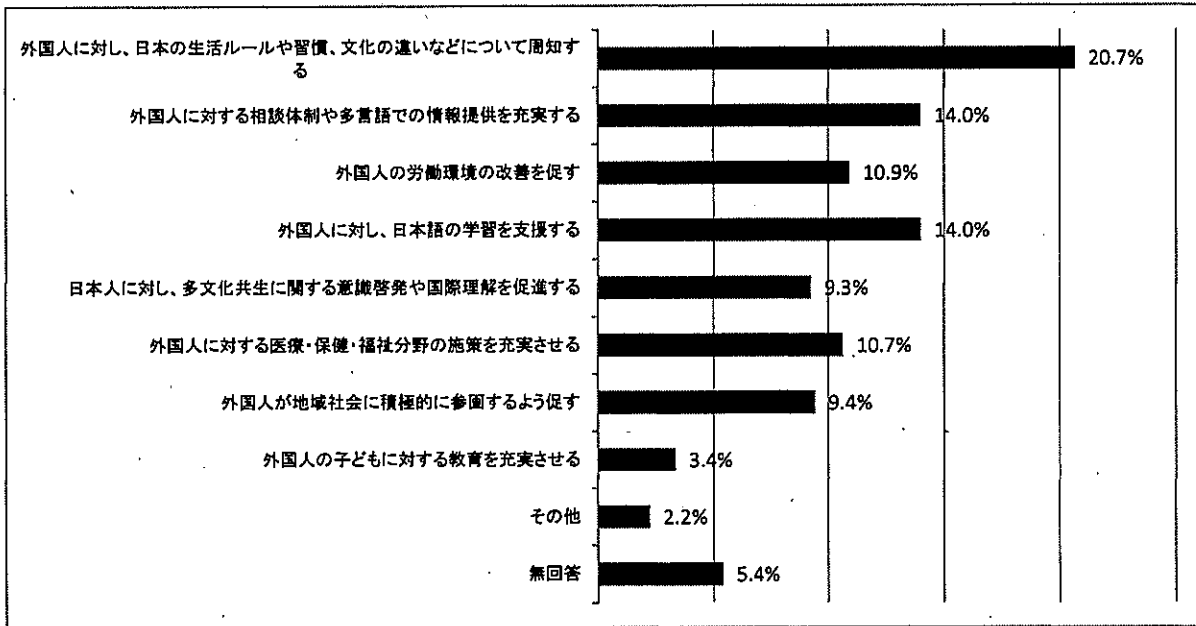


地域活動への参加については、「都合が合ったとき参加している」という回答が29.1%で最も多く、次いで「積極的に参加している」という回答が28.5%となっている。

【行政施策】

Q23 日本人とともに暮らしやすい社会にしていくため、行政の施策で特に必要と思われることは何ですか。（3つまで〇）

- ①外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する
- ②外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する
- ③外国人の労働環境の改善を促す
- ④外国人に対し、日本語の学習を支援する
- ⑤日本人に対し、多文化共生に関する意識啓発や国際理解を促進する
- ⑥外国人に対する医療・保健・福祉分野の施策を充実させる
- ⑦外国人が地域社会に積極的に参画するよう促す
- ⑧外国人の子どもに対する教育を充実させる
- ⑨その他



行政の施策で特に必要と思われることは、「外国人に対し、日本の生活ルールや習慣、文化の違いなどについて周知する」という回答が20.7%で最も多く、次いで「外国人に対する相談体制や多言語での情報提供を充実する」、「外国人に対し、日本語の学習を支援する」という回答が14.0%となっている。